

令和3年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 長崎純心大学 実施報告書



実施主体 長崎純心大学 地域包括支援学科

実施内容 児童虐待防止啓発ポスターの作成

### ①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状に関する学習 児童虐待に関する映像学習

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

授業において児童虐待の現状を学び、オレンジリボン運動の起源や発足に込められた思いに関する学習を行った。また、グループに分かれて児童虐待防止を啓発することをテーマとしたポスターを作成し、発表会を開催した。ポスター作成に際しては、ポスターに込めた思いをグループごとにレポートにまとめた。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

学生がポスターに込めた思い

- ・子ども自身は辛いということを伝える手段がない。そのため、近所の人や学校関係者の見守りが必要である。
- ・暴力だけが虐待ではないので、「あなたが行っているのは虐待では？」と保護者に問いかけるポスターを作成した。
- ・通告を躊躇する場合があると思ったため、どうすればよいか迷ってもためらわずに、まずは189に電話してほしいという思いを込め、「気になったらいちやく」というメッセージを書いた。
- ・「見ないふりしていませんか」というメッセージを書いたのは、現代の近所づきあいの希薄化から虐待の発見が遅れることを少なくするため。このメッセージで、一人でも周りの人のことを考える時間を作ることができれば、監視ではなく温かい見守りができるのではないかと思った。
- ・一人でも多くの虐待で悲しい、痛い思いをしている子どもを早期発見し救い出すためにも、まずは自分が地域に住む一人の大人として生活すべきだと思った。



学生のポスター作成の様子  
完成したポスター



